

神楽甲子園に関わる 人々の持つ思い



—来場者—
（右から）松田 陽子さん、
娘の華菜美さん
（広島市安佐南区）

出身は呉市で、現在は安佐南区に住んでいるのですが、地域のお祭りに行ったときにお宮で舞われる神楽を見て、神楽の魅力に引き込まれました。また、仕事の関係で県北の高校に行ったときに、神楽部の活動を見て、高校生の舞う神楽に興味を持ち、神楽甲子園に来ました。重たい衣装を着て懸命に舞い、練習の成果を発揮している姿を見ると、とても感動します。



—出演者—
吉田高校神楽部 部長
まるた りゅうや
丸田 竜也さん
（三次市）

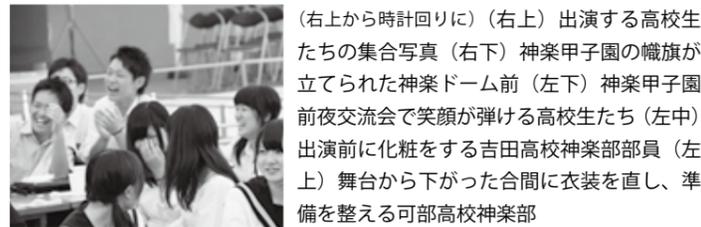
神楽は元々見るのが好きだったのですが、姉が吉田高校の神楽部で活動する姿を見て、自分もやりたいと思い入部しました。ハプニングもあり最後までできるか不安でしたが、やりきることができてよかったです。

神楽甲子園で、自分たちの神楽を多くの人に見てもらい、評価してもらおうことが、自分たちの成長につながると思います。神楽は、舞手、楽人（囃子方）、裏方が自分たちの役割に誇りを持ち、一人ひとりの力が合わさって作りあげられるものだと思います。



—民泊受け入れ者—
川根振興協議会 副会長
おくだ ちさと
岡田 千里さん
（高宮町）

民泊は昨年青森県立田子高校を受け入れたのが初めてで、今年で2回目です。子どもたちの姿は孫のようにかわいく感じます。私の孫も、千代田高校神楽部として舞いました。民泊の受け入れは心配しましたが、こうやって若い子たちと交流させてもらって元気もらいます。受け入れにあたって、一昨年神楽甲子園のDVDで葛巻高校の神楽を見ました。とても女の子らしい舞だと思いましたが、獅子頭を使う舞は力強さも、一生懸命舞っている姿が印象的でした。



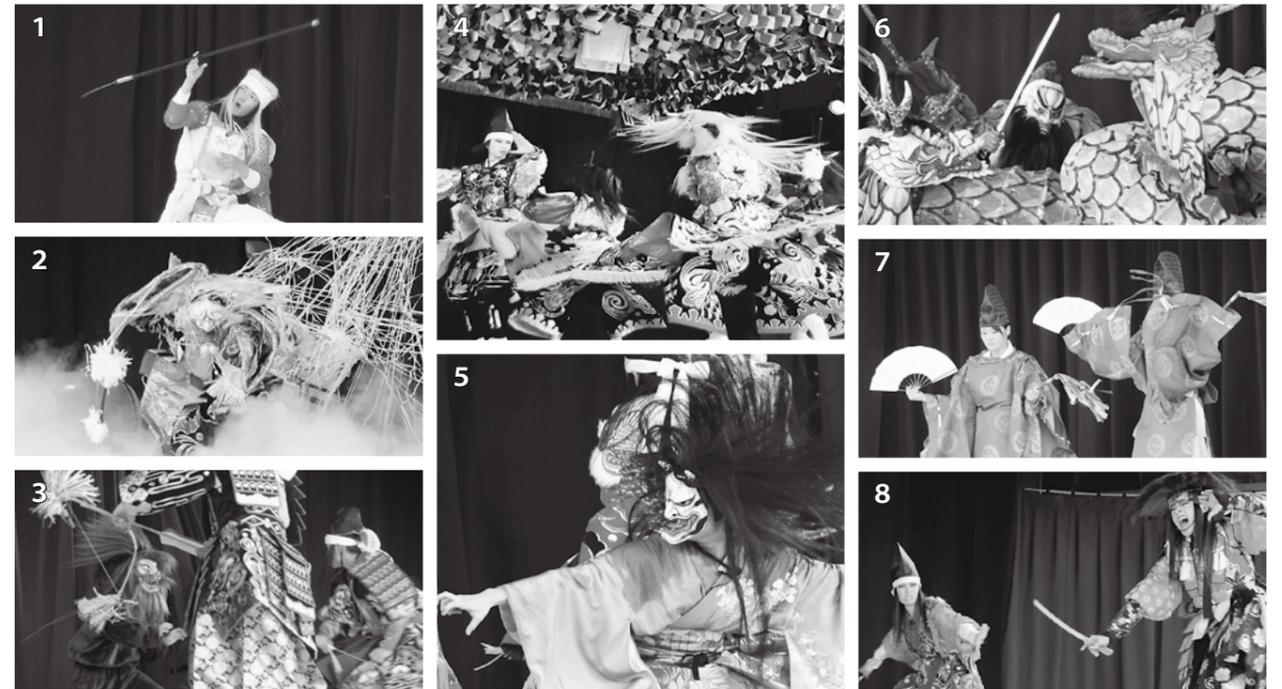
（右上から時計回りに）（右上）出演する高校生たちの集合写真（右下）神楽甲子園の幟旗が立てられた神楽ドーム前（左下）神楽甲子園前夜交流会で笑顔が弾ける高校生たち（左中）出演前に化粧をする吉田高校神楽部員（左上）舞台から下がった合間に衣装を直し、準備を整える可部高校神楽部

【写真説明（右ページ）】

1. 広島県立西城紫水高校 神楽部「猿田彦の舞」 2. 島根県立矢上高校「土蜘蛛」 3. 島根県立浜田商業高校 郷土芸能部「頼政」 4. 広島県立千代田高校 神楽愛好会「鈴鹿山」 5. 広島県立吉田高校 神楽部「滝夜叉姫」 6. 島根県立浜田養護学校 神楽部「大蛇」 7. 高知県立構原高校 構原ディスカバークラブ「弊舞」 8. 広島県立可部高校 神楽部「山姥」 9. 静岡県立遠江総合高校 郷土芸能部 天宮神社十二段舞楽 第五番「太平楽」天宮神社十二段舞楽 第十二番「獅子」 10. 広島新庄高校 郷土芸能同好会「天慶記・将門」 11. 宮崎県立高千穂高校 神楽保存会「戸取り」 12. 島根県立江津高校 チーム江津地域活性化部 石見神楽愛好会「道返し」 13. 岡山県立高梁城南高校 郷土芸能同好会「猿田彦の舞」 14. 鳥取県立日野高校 郷土芸能部 荒神神楽「八重垣能」 15. 岩手県立葛巻高校 郷土芸能部 葛巻神楽「三宝荒神」「権現舞」



（左上から時計回りに）
（左上）会場インタビューでは、各校の上演の感想を来場者の皆さんに述べていただいた（右上）川根振興協議会の皆さんが準備した夕食を食べる葛巻高校郷土芸能部の生徒たち（左下）集合写真を撮る高千穂高校神楽保存会の生徒たちと保垣照山会の皆さん



第5回 高校生の神楽甲子園 ひろしま安芸高田

7月25日（土）、26日（日）、神楽門前湯治村 神楽ドームで開催された神楽甲子園。

第5回目を迎えた今年も、全国各地から集まった15校での開催となり、来場者数は2日間で過去最多の約3,100人。高校生たちは、厳しい暑さの中、日頃の練習の成果を存分に発揮。各地に伝わる伝統芸能・神楽を継承する若者たちに、観客は大きな拍手とエールを送り、熱い2日間が幕を閉じました。

